

## 1. 当院の新規採用医薬品等について

平成28年6月開催の薬剤委員会の結果、新規採用及び採用中止になった医薬品の詳細等をお知らせします。

### 新規採用医薬品

医薬品名	規格・単位	薬価	会社名
エックスフォージ配合 OD錠	錠	105.50 円	ノバルティス
ストロメクトール錠 3mg	3mg/錠	772.60 円	マルホ
ノルレボ錠 1.5mg	1.5mg/錠	-	あすか
コロフオート内用懸濁液 25%	32mL/瓶	501.60 円	伏見製薬
献血アルブミン 20%静注 4g/20mL「ニチャク」	20mL/V	2514.00 円	日本製薬
ガドペンテト酸メグルミン静注液 37.14% シリンジ 20mL「F」	20mL/シリンジ	5546.00 円	コニカミノルタ
レパーサ皮下注 140mg シリンジ	140mg/シリンジ	22948.00 円	アステラス

### 採用中止医薬品

採用中止医薬品名	規格	代替薬品等
エックスフォージ配合錠 (ノバルティス)	錠	エックスフォージ配合 OD錠

ニバジール錠 4mg (アステラス)	4mg/錠	アムロジピン OD 錠 5mg「トーワ」 他
ノルレボ錠 0.75mg (あすか)	0.75mg/錠	ノルレボ錠 1.5mg
プロヘパール配合錠 (科研製薬)	錠	ウルソデオキシコール酸錠 100mg 「サワイ」 グリチロン配合錠
ハイアラージン軟膏 2% (日本ジェネリック)	10g/本	ニゾラールクリーム 2% 他
ボルヒール組織接着用(0.5mL) (アステラス)	0.5mL/4 瓶組	ボルヒール組織接着用(3mL)
ガドペンテト酸メグルミン静注液 37.14% シリンジ 20mL「F」 (富士製薬)	20mL/シリンジ	ガドペンテト酸メグルミン静注液 37.14%シリンジ 20mL「F」(コニカ ミノルタ製品)

#### 院外処方登録医薬品

医薬品名	規格・単位	薬効	薬価
ボノサップパック 400 (武田薬品)	シート	胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃 MALT リンパ腫・特 発性血小板減少性紫斑病・早期胃癌に対する 内視鏡的治療後胃におけるヘリコバクター・ピ ロリ感染症、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎	733.80 円
ボノピオンパック (武田薬品)	シート	胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃 MALT リンパ腫・特 発性血小板減少性紫斑病・早期胃癌に対する 内視鏡的治療後胃におけるヘリコバクター・ピ ロリ感染症、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎	654.60 円

#### 販売中止予定採用品目について

販売中止予定医薬品名	規 格	薬効	販売中止予定時期
エコリシン点眼液 (参天製薬)	5mL/本	眼瞼炎、涙嚢炎、麦粒腫、結膜炎、角 膜炎 (角膜潰瘍を含む)	2016 年 12 月

《新規採用医薬品》

商品名・英名 メーカー名・貯法	一般名・配合成分・規格・ 規制・生物由来	効能・効果
<b>エックスフォージ配合 OD 錠</b> Exforge combination tablets (ノバルティス)	バルサルタン\アムロジ ピンベシル酸塩 バルサルタン 80mg・アムロジ ピン 5mg／錠  劇薬	高血圧症
<b>ストロメクトール錠 3mg</b> Stromectol tablets (マルホ)	イベルメクチン 3mg／錠  劇薬	1.腸管糞線虫症 2.疥癬
<b>ノルレボ錠 1.5mg</b> Norlevo tablets (あすか)  遮光	レボノルゲストレル 1.5mg／錠	緊急避妊
<b>コロムフォート内用懸濁液 25%</b> Colomfort oral suspension (伏見製薬)	硫酸バリウム 32mL／瓶	腸内容物の標識による大腸コンピューター断層 撮像の補助
<b>献血アルブミン 20%静注</b> <b>4g／20mL ニチャク</b> Albumin 20%I.V (日本製薬)	人血清アルブミン 20mL／V  特定生物	・アルブミンの喪失(熱傷、ネフローゼ症候群等) 及びアルブミン合成低下(肝硬変症等)による低 アルブミン血症 ・出血性ショック
<b>ガドペンテ酸メグルミン静注液</b> <b>37.14%シリンジ 20mL「F」</b> Meglumine gadopentetate injection (コニカミノルタ)  遮光	ガドペンテ酸メグルミン 20mL／シリンジ	磁気共鳴コンピューター断層撮影における下記 造影 脳・脊髄造影 躯幹部・四肢造影
<b>レパーサ皮下注 140mg シリンジ</b> Repatha SC injection (アステラス)  遮光・冷所	エボロクマブ(遺伝子組 換え) 140mg／シリンジ  生物	家族性高コレステロール血症、高コレステロール 血症 ただし、心血管イベントの発症リスクが高く、 HMG-CoA 還元酵素阻害剤で効果不十分な場 合に限る。

## 2. 当院の院外処方せん発行状況について

平素より、院外処方せんの発行にご協力頂いております。下記の平成28年度院外処方せん発行率の表のとおり、当院の院外処方せん発行率は90%未満となっております。院外処方せんの発行促進により、医薬品購入費ならびに医薬品在庫金額の抑制につながりますので、さらなる院外処方せん発行率の向上にご協力をお願い致します。

●平成28年5月院外処方せん発行率：85.4%

